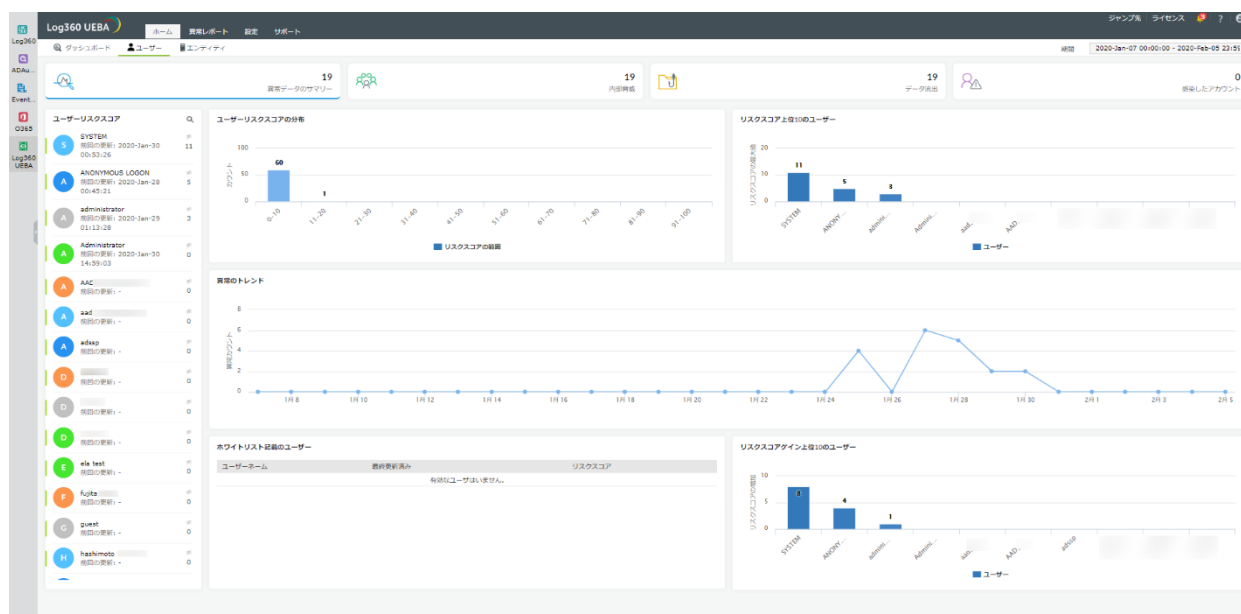


ManageEngine の SIEM ソフトウェア Log360

「UEBA」 オプションをリリース

機械学習による行動分析で、内部脅威へのセキュリティ強化を実現

[ゾーホージャパン株式会社](#)（代表取締役： マニカndan・タンガラジ、本社：横浜市、以下、ゾーホージャパン）は、SIEM ソフトウェア「ManageEngine Log360」に拡張機能「[UEBA（User and Entity Behavior Analytics：ユーザーおよびエンティティの行動分析）](#)」を加えた最新版を2020年3月2日にリリースいたしました。



<https://www.manageengine.jp/products/Log360/>

Log360 の UEBA 機能は、機械学習による内部攻撃・異常検出を可能にします。主な機能として、「スコアベースのリスク評価」や「脅威の識別」があり、内部脅威の識別/特定/調査に有用です。ユーザーやサーバー/ワークステーションへの不正アクセスやデータ流出を検知します。

UEBA 機能を含むフル機能を 30 日間利用できる無料評価版（技術サポート付）は、以下の Web サイトよりご利用いただけます。

<https://www.manageengine.jp/products/Log360/download.html>

■ Log360 UEBA とは

Log360 の UEBA 機能は、スコアベースのリスク評価、脅威の識別・異常検出ができるほか、内部脅威の特定／調査に有益な役割を果たします。[Verizon の 2019 年度データ漏洩/侵害調査報告書](#)によると、2018 年に確認された 41,686 件のセキュリティインシデントのうち、内部攻撃者が関与するものは 30%を超えていたと報告されています。内部の人物による攻撃は、正当な手法でデータへアクセスできてしまうため、攻撃の兆候を見つけることが難しく、とりわけ従来の検知システムでは検出が困難なものでした。

Log360 UEBA では、製品が収集したログ情報からユーザーの通常の行動をベースラインとして定義し、そこから逸脱する動作にはフラグを付けることで、強固かつ精密な脅威検知が可能です。

「今日の IT セキュリティ環境では、厳格なアラート規則や従来の検知システムでは、もはや不十分です。今必要とされているのは、継続的な変化を学習しそれに適応していけるシステムです。Log360 の UEBA は、まさにそれを実現し、脅威検知の精度を上げると同時に、本当に調査すべき脅威の識別および調査を可能にします。」——ゾーホージャパン株式会社代表取締役 マニカンダン・タンガラジ

■ Log360 UEBA の特長

Log360 の UEBA 機能はログとして検出されるユーザーの行動を監視し、動作の変化を特定します。見逃されがちな異常行動も、フラグがつけられることで、脅威の検知と対応までにかかる時間を短縮します。

Log360 の UEBA の特長として次のことが挙げられます：

- **異常検知**：異常な時間帯のログオン、異常な回数のログオン失敗、特定のユーザーによる通常使用されるはずのないホストからのファイル削除など、異常なユーザーやエンティティの行動を特定します。
- **スコアベースのリスク評価**：各ユーザー/エンティティの行動を分析し、その危険度に基づいたリスクスコアを生成します。これにより、優先的に調査すべき脅威の判断が容易になります。
- **脅威の識別**：侵害や攻撃の兆候を特定し、内部脅威、アカウント侵害、データ流出などの主要な脅威を明らかにします。

■ 価格と無料評価版

UEBA 機能オプションの価格は下記の通りです。

- 年間ライセンス 104,000 円
- 通常ライセンス 初年度 254,000 円、次年度以降の年間保守サポート 43,000 円

UEBA 機能を含むフル機能を 30 日間利用できる無料評価版（技術サポート付）は、以下の Web サイトをご参照ください。

<https://www.manageengine.jp/products/Log360/download.html>

ManageEngine について

ManageEngine は、ゾーホージャパン株式会社が提供するネットワークや IT サービス、セキュリティ、デスクトップ・ノート PC、ビジネスアプリケーションなどを管理する製品・サービス群です。必要十分な機能に限定、かつ、直感的な操作が可能な画面設計により、短期間での導入が可能であり、その後の運用フェーズにおいても手間がかからず、よりシンプルな IT 運用管理を実現します。また、中堅・中小企業でも導入しやすいリーズナブルな価格で、これまで大手 IT ベンダーが提供する複雑で高額なツールを利用していた企業や、ツールを自社開発していた組織にも採用されてきました。現在では、日本国内の一般企業、官公庁や自治体などへ、5,000 ライセンスを超える販売実績があり、安心して使える製品・サービスです。最大で 37 言語に対応する製品・サービスは、北米、欧州をはじめ、南米、中東、アジアなど世界で 18 万社以上の企業や組織が導入し、企業・組織の IT 運用管理のシンプル化、グローバル化に貢献しています。



<https://www.manageengine.jp/>

ゾーホージャパン株式会社について

ゾーホージャパン株式会社は、ワールドワイドで事業を展開する Zoho Corporation Pvt. Ltd. (本社：インドタミル・ナドゥ州チェンナイ CEO：Sridhar Vembu) が開発/製造したネットワーク管理開発ツールや企業向け IT 運用管理ソフトウェア、企業向けクラウドサービスを日本市場に提供すると同時に関連するサポート、コンサルティングなども提供しています。企業向け IT 運用管理ツール群「ManageEngine」は、世界 18 万社を超える顧客実績を誇り、国内でも販売本数を伸ばしています。「ManageEngine」は、ネットワーク管理の OEM 市場でスタンダードとして認知されてきたネットワーク管理開発ツール「WebNMS」のノウハウや経験を生かして開発されたものです。また、業務改善/生産性向上を支援する企業向けクラウドサービス群「Zoho」は、世界で 4,500 万人を超えるユーザーに利用されています。国内では「Zoho CRM」や、40 種類以上の業務アプリケーションを利用できる「Zoho One」を中心にユーザー数を増やしています。



<http://www.zoho.co.jp/>

【お問い合わせ先】

■ 報道関係からのお問い合わせ先： ゾーホージャパン株式会社 マーケティング部

Mail：jp-memmarketing@zohocorp.com TEL：045-319-4613

■ お客様からのお問い合わせ先： ゾーホージャパン株式会社 営業部

Mail：jp-mesales@zohocorp.com TEL：045-319-4612

■ ゾーホージャパン URL：<http://www.zoho.co.jp/>

■ ManageEngine 事業サイト URL：<https://www.manageengine.jp/>